

下関市立大学教職委員会規程

平成 19 年 4 月 1 日

規 程 第 8 2 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、下関市立大学における教職課程に関する事項を審議するために設置される下関市立大学教職委員会（以下「委員会」という。）の運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教職課程のカリキュラム編成等に関すること。
- (2) 教育実習に関すること。
- (3) 介護等体験事前事後指導に関すること。
- (4) その他教職課程に関すること。

(構成)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 教職担当教員 5 名
- (2) 学務グループ長
- (3) 学務グループ職員 1 名

(任期)

第 4 条 前条第 1 号及び同条第 3 号の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

- 2 委員が任期途中で退任した場合は、速やかに補充する。
- 3 前項の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員会の委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

(委員長等の責務)

第 6 条 委員長は、委員会の会議（以下「会議」という。）の議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第 7 条 会議は、委員長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議において議決を要するときは、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第8条 議長は、特に必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(議事録)

第9条 委員会は、会議の議事について議事録を作成し、保管するものとする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、学務グループ教務班において行う。

(その他)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。